



[PHP脆弱性対応] 対象とパッチ

■2026年10月21日23時、PHP脆弱性が発表されました

<対応状況>

PHP提供元、OS会社（AlmaLinux）、cPanel社により、対応バージョンが相次いでリリース・配布開始されました。下表に記載のないバージョンは、セキュリティパッチの提供はございません。

提供元	対応済みバージョン	適用方法
PHP本家	PHP 8.5.12, 8.4.27, 8.3.36 , 8.2.35	手動でコマンドによりインストールし適用
AlmaLinux	PHP 7.4 , 8.0 , 8.2 (OSバンドル版)	手動でコマンドによりインストールし適用
cPanel	PHP 7.4 , 8.0 , 8.1 , 8.2 , 8.3 , 8.4	自動適用（2026年10月22日朝6時までに対応済み）

■お客さまにおける今後の対応について

ご契約プランおよびサーバーOSにより、対応可否が異なります。

- ・ CentOS 7 以下は、既にサポートが終了しているため、現状のままでは対応できません。
→新しいOSのサーバーへ引っ越しが必要となります。
- ・ AlmaLinux 8 以上、cPanelあり、の場合は、既に対応は完了しております。使用しているPHPバージョンをご確認ください。
→もし「PHP7.3以下を使用する」とされていた場合は、cPanel>MultiPHP Managerよりバージョンを変更ください。
- ・ CentOS 7、cPanelあり、の場合は、救済措置としてcPanel社によりパッチが開発され、PHP 7.4～に限り、既に対応は完了しております。使用しているPHPバージョンをご確認ください。
→もし「PHP7.3以下を使用する」とされていた場合は、cPanel>MultiPHP Managerよりバージョンを変更ください。
- ・ PHPバージョンアップは、プログラム（自作、WordPress、EC-Cube等）の改修が必要となります。コンテンツ側の調整にあわせて、使用するPHPバージョンの変更を行ってください。詳しくは、開発会社・制作会社さまへお問い合わせください。



[PHP脆弱性対応] バージョン確認方法

■cPanelがある場合

cPanel > MultiPHP Manager

←バージョン変更をする場合、
ドメイン名を選択し、バージョンを選択して「適用/Apply」

■cPanelがない場合

[方法1] サーバーにSSH接続し、以下のコマンドを実行します。

```
# php -v
```

[方法2] phpinfoが表示されるようにします（確認後はセキュリティ上、削除ください）。

```
<?php phpinfo(); ?>
```

と記述したファイルを、例えば phpinfo20261022.php として保存し、FTPでアップロード。
アップロードした箇所をブラウザから参照します。

例) http:// [お客さまドメイン名] /phpinfo20261011.php



[PHP脆弱性対応] チロロ共有サーバー①

■サーバー管理画面がcPanel、サーバー名が「beaver.chiroro.net」の場合

<対応状況>

サーバーOSが古く、また、利用できるPHPバージョンも古いため、メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチの提供がございません。

<対応方法>

新しいサーバーOS・セキュリティ対応済みバージョンが使えるサーバーへの引っ越しが必要です。

※なお、ウェブサイト用のプログラム・WordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。

■サーバー管理画面がcPanel、サーバー名が「beaver.chiroro.net」以外の場合

<対応状況>

利用しているPHPバージョンに依り、PHPセキュリティ対応済みパッチの提供が異なります。

PHPバージョン	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4
cPanel対応状況	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

PHP7.4～：2026年10月22日朝6時までに対応済み

<セキュリティパッチ非対応のバージョン（～PHP7.3）をご利用中の場合>

cPanel>MultiPHP Managerより、PHPバージョンを変更してください。

※なお、ウェブサイト用のプログラム・WordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。



[PHP脆弱性対応] チロロ共有サーバー②

■サーバー管理画面がcPanelではない場合

<対応状況>

サーバーOSが古く、また、利用できるPHPバージョンも古いため、メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチの提供がございません。

<対応方法>

新しいサーバーOS・セキュリティ対応済みバージョンが使えるサーバーへの引っ越しが必要です。



[PHP脆弱性対応] チロロ仮想サーバー①

■プラン名が「Economy」「Economy Extra」「Business」「Exective」「Suite」の場合

<対応状況>

サーバーOSが古い場合、メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチの適用ができません。

PHPバージョン	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4
AlmaLinux8～	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×	○	○	○
～CentOS 7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	－	－	－	－

<対応方法>

PHP7.4～：2026年10月22日朝3時より配布開始

◆～CentOS 7 をご利用中の場合

新しいサーバーOS・セキュリティ対応済みバージョンが使えるサーバーへの引っ越しが必要です。

※なお、ウェブサイト用のプログラムやWordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。

◆AlmaLinux 8～をご利用中の場合

メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチが公開された場合、パッチ適用が可能です。※2026/10/22, 3:00am配布開始

マネジメントプラン名	使用PHPバージョン	対応	作業費(チロロ依頼時)
マネジメント 「ゴールド」 「プラチナ」	PHP7.4/8.0 (OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	無料
	PHP8.2～ (Remi、OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	無料
	上記以外	今のPHPをアンインストールし対応バージョンのPHPの再インストールが必要	・平日9～18時対応：15,000円 ・上記以外：30,000円 ・48時間以内特急対応：45,000円
マネジメント 「ブロンズ」 「シルバー」	PHP7.4/8.0 (OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	・平日9～18時対応：15,000円 ・上記以外：30,000円 ・48時間以内特急対応：45,000円
	PHP8.2～ (Remi、OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	
	上記以外	今のPHPをアンインストールし対応バージョンのPHPの再インストールが必要	

※なお、ウェブサイト用のプログラムやWordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。



[PHP脆弱性対応] チロロ仮想サーバー②

■プラン名が「Premium-〇〇(数字)」の場合

<対応状況>

cPanel社により、PHP7.4～において、PHPセキュリティ対応済みパッチが適用済みです。

PHPバージョン	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4
AlmaLinux8～	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
～CentOS 7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	—	—

<対応方法>

◆PHP7.4～を使用中の場合

特段の作業はございません。

◆～PHP7.3を使用中の場合

cPanel>MultiPHP Managerより、PHPバージョンを対応バージョンへ変更してください。

※なお、ウェブサイト用のプログラム・WordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。



[PHP脆弱性対応] チロロ専用サーバー

■専用サーバーの場合

<対応状況>

サーバーOSが古い場合、メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチの適用ができません。

PHPバージョン	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4
AlmaLinux8～	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	×	○	○	○
～CentOS 7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	－	－	－	－

<対応方法>

PHP7.4～：2026年10月22日朝3時より配布開始

◆～CentOS 7 をご利用中の場合

新しいサーバーOS・セキュリティ対応済みバージョンが使えるサーバーへの引っ越しが必要です。

※なお、ウェブサイト用のプログラムやWordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。

◆AlmaLinux 8～をご利用中の場合

メーカーからのPHPセキュリティ対応済みパッチが公開された場合、パッチ適用が可能です。※2026/10/22, 3:00am配布開始

マネジメントプラン名	使用PHPバージョン	対応	作業費(チロロ依頼時)
マネジメント 「ゴールド」 「プラチナ」	PHP7.4/8.0 (OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	無料
	PHP8.2～ (Remi、OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	無料
	上記以外	今のPHPをアンインストールし対応バージョンのPHPの再インストールが必要	・ 平日9～18時対応：15,000円 ・ 上記以外：30,000円 ・ 48時間以内特急対応：45,000円
マネジメント 「ブロンズ」 「シルバー」	PHP7.4/8.0 (OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	・ 平日9～18時対応：15,000円 ・ 上記以外：30,000円 ・ 48時間以内特急対応：45,000円
	PHP8.2～ (Remi、OSバンドル)	アップデート公開され次第適用可	
	上記以外	今のPHPをアンインストールし対応バージョンのPHPの再インストールが必要	

※なお、ウェブサイト用のプログラムやWordPressは、使用するPHPバージョンに合うよう開発されていますので、バージョン変更することで動作しなくなる場合があります。開発元・制作会社さまへお問い合わせください。